

# 银杏学園 短期大学

# 同窓会だより

平成10年度



银杏学園短期大学学長  
酒匂 光郎

## ご挨拶

前理事長・学長野中實男先生の後任として平成9年3月27日より银杏学園理事長、本年11月1日より银杏学園短期大学学長に就任いたしました。浅学非才であります。就任いたしました以上は、役員及び教職員の方々と力を合わせ、多難な時期を乗り越えて行かねばならない責任の重大さを感じております。

同窓会の皆様の御活躍の様子は、「医学検査」の誌上をはじめ、学会、諸会合などで直接お会いしたり、あるいは、種々仄聞いたし、よく知っております。感謝と喜び一杯でございます。

化血研が公益事業の一環として、昭和34年3月化血研衛生検査技師養成所を設立し、その後、昭和35年4月、熊本医学技術専門学校と名称を変更し、昭和43年2月学校法人银杏学園ならびに银杏学園短期大学の設立許可を受け、学校法人として発足いたしました。加えて、昭和58年4月看護科を併設し、多くの方々それぞれ分野で活躍されておられる事は、昭和34年以来、共に勉学に励んだり、また、関連業務に携わったりして来ました私個人としても感無量なるものがあります。先輩諸氏に負けない社会人として学生を育てなければなりません。

今や世相は、いづれの分野でも厳しく、

技能は勿論、精神的にも健全な者が要望されており、本年10月26日に大学審議会より出された答申でも、表題は「二十一世紀の大学像と今後の改革方策について」競争的環境の中で個性が輝く大学」と謳われております。

本学は、二学科で学生数も多くなく、学校経営として、まず、考えなくてはならないのは如何にして魅力ある学園として、社会に認められるかと云う事でしょう。この事を根拠に持ちながら今後努力して参ります。

本学園の評議員会の構成メンバーの中に、本学卒業生を3名以上5名以内を含むようになっており、現在、渡辺友宏様、佐間野健様、本田友登様、梅橋豊蔵様にお世話になっております。同窓生の皆様方は、私共に直接又は、評議員の4名の方々を通して頂いても結構でございますので、どしどし建設的な御意見を頂戴し頂ければと思います。

医学関係の進歩は目覚ましいものがありますが、や、もすれば専門分野に分かれすぎ「木を見て山を知らざる」になってしまふのではと時々危惧する様な事もあります。私共は学生に、基礎となる学問をしっかりと教え、社会人として各職場にはいった時、その基礎知識に立脚し、先輩方の御指導の下、それぞれの専門を遂行出来る様になりたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ申しあげます。

第23回银杏学園短期大学学術祭「杏祭」も11月7・8日に学友会が中心となり、教職員のみならず近隣の方々の御協力のもと、天候にも恵まれ盛大に催されました。内容も充実し、本学の存立理由をいやはや上にも宣伝する事が出来たと思ひます。

最後になりましたが、同窓会の皆様のご健祥をお祈りいたしますと共に、更なる御助力をお願いいたしまして挨拶いたします。



银杏学園短期大学前学長  
野中 實男

## 退任御挨拶

10月31日を以て银杏学園短期大学の学長職を退任致しました。任期を二年早めの自らの決断による辞任でありましたが万感胸に迫る思いであります。

永い間、教職の先生方、事務職の皆様方そして同窓の先生方の御指導、御支援に依つて果たすことが出来ました職責でありました。心から御礼を申し上げます。

また、学生の皆さんと色々な場所で楽しい対話が出来ましたことも忘れられない思い出となりました。

永続は力なりと言われるますが、银杏学園大学が学生の努力、同窓生の支援、教職員の尽力に依つて益々発展することを心から祈っております。

サッカーの言葉であったかと思ひますが、「老兵は死なず、ただ消え去るのみ」というのがあります。後任には活力と能力と知力の素晴らしい、これ以上の人は居ないと考えられる酒匂学長が就任されます。安心して、喜んで老兵は消えるべきであります。そして死なずに学園の発展のために縁の下で力を尽くすべきだと考えているこの頃です。



银杏学園短期大学同窓会会長  
梅橋 豊蔵

## ご挨拶

「笛吹けど踊らず」という言葉があります。小淵内閣が混迷する経済改革を掲げスタートして3ヶ月が経過しますが、一向に景気上向きの兆しが見えて来ません。バブル崩壊で不良債権を抱え込んだ銀行の貸し渋りが不況に拍車をかけているとかで、銀行に莫大な資金(税金)を注入する、一方で度々の所得税減税等、日本経済はパンク寸前にもかかわらず大盤振る舞いすれど、冷め込んだ景気は反応なく、平成の高橋是清と期待された宮沢大蔵大臣も顔色が冴えません。

しかしこんな時代、この暗い風潮を覆す救世主を望み、国民一人一人の発想の転換が必要なのではないでしょうか。

医療制度も大きな変革が求められています。臨床検査もプランチャやFMS、保険点数切下げ、包括化の進行等、明るいニュースはありません。こちらは厳しい時代への的確な対応が求められている訳ですので意識の改革が必要なのでしょう。いや、暗い発想や暗い予測は悪循環を引き起こすことになるので、やはりこちらも発想の転換が必要ということになりましょうか。

去る9月26日(土)・27日(日)の両日、熊本市に於いて第33回九州臨床検査学会が開催されました。この学会の会員懇親会の後に、同ホテルの別室で同窓会を開催しましたところ、大盛会でありました。医技専門生の岳野先生をはじめとして九州各県から多くの会員にご出席頂き、大いに盛り上がりつつ大変嬉しい思いを致しました。会場では各卒業期毎に同窓生がステージに

立たれ、近況等を面白く紹介され、大変和やかに、かつ賑々しく、楽しい一時が過ぎました。ご出席頂きました野中先生はじめ銀大の先生方、同窓会の会員諸氏、そして関係各位に心から御礼申し上げます。

银杏学園短期大学は、野中實男学長がこの10月31日をもって勇退され、後任として、酒匂光郎银杏学園理事長(化血研理事長)が学長を兼任されることとなりました。野中先生には永年にわたりご指導頂きましたことに同窓会を代表致しまして心から御礼申し上げますと共に、益々のご健勝を祈念致します。また、酒匂光郎新学長には、银杏学園短期大学と共催で毎年開催しております臨床検査講習会をはじめ、今後の同窓会活動に關しましても、何卒ご指導ご鞭撻賜りますよう宜しくお願いを申し上げます。

今年度の技術講習会は、銀大13期の会員の皆さんが中心となって企画準備中であり、過去3年の講習を振り返ってみますと、それぞれ職場も生活環境も違った人達で、講習会を盛り上げるために力を合わせて努力する様子を拝見しますと、同窓生という一つの絆が、いかに強いものであるかということに改めて認識させられます。平成10年度開催担当の13期生の皆さんの努力に込める意味からも、是非多くの会員諸氏のご参加をお願い申し上げます。

「傍目八目」という諺があります。常任評議員の皆さんと同窓会の運営を預かっていただきますので、何卒会員の皆様方の忌憚のないご意見とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、同窓生各位の益々のご健勝ご活躍を祈念致します。

【事務局より】  
平成11年1月30日(土)に開催される技術講習会において、前学長野中先生の慰労会並びに懇親会を行いますので、会員の多数のご参加をお願い致します。

# 新任挨拶

臨床免疫学担当 江藤 晶

同窓生の皆様に初めてご挨拶します。私は、平成10年7月に銀杏学園短期大学の臨床免疫学助教として勤務することになりました。江藤晶です。昭和51年に九大農学部修士課程を卒業し、同年化血研に入所後は約20年間、故六反田藤吉先生、野中實男前学長、吉川ひろみ教授、後藤勲助教、山田昭先生、山田進一教授など多くの銀大の先生方の指導を受けてまいりました。また、ワクチン開発と並行して、管理血清やヒト型酵素標品の開発も担当しましたので、中野尚美教授、松原高賢先生、近浦靖講師、古賀和子講師の教えを受ける機会もありました。これからはお世話になった銀大で、これまでの恩返しをしていくつもりでおりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

化学担当 梅橋 操子

本日2月より衛生技術科の教員として、化学を担当させて頂いております。大学卒業以来これまで20数年間、化血研の研究部門で仕事を参りました。最初の数年は臨床試薬の開発を担当し、その後は医薬品の研究開発に従事してきました。ところが去る2月より、突然人を教育するというこれまでとは違った立場に立たされることになりました。たくさんのお学生を対象に教えるということに関しては残念なことに経験がありませんでした。最近の学生気質がどのようなものか知る機会もありませんでした。また、教育ということに少し不安もありましたが、前期の講義を終了し、なんとかやっていける自信が持てたように思っています。これまで教員としての経験はありませんが、その分学外で様々な経験を積んできているつもりですので、この経験を活用し、やや違った角度から学生を指導し、また学校の為に役立つことができたらと思っております。なにとぞ宜しくお願い致します。

# 新米教師雑感

微生物学担当 山田 進一

昨年4月から着任した私は、微生物学を担当している。昨年は講義準備とか学内の行事に追われたが、今年度からは少し時間的に余裕を持てるようになった。私は前職のとき2・3の大学で長いこと助っ人教師をしてきたが、何の責任もなくのんびりとやらせてもらった。しかし銀杏学園短期大学では専任教師なので、責任があり、緊張を強いられる。

微生物学は基礎科目なので、年生が対象。理科系の学生は日進月歩の、大量の科学知識を学ぶのは当然としても、同時に立派な社会人となるための心構えも養わなければならない。学生は講義の合間に社会の動きとか、臨床検査技師の周辺の話などが、情報として与えられている。

入学したばかりの学生は、国家試験も就職試験も身近に感じていない。講義中なのに耳を閉ざして、自分の好みの時間にしてしまったり、情報交換に使うものも多い。だから未熟な私の教授技術と相まって、試験をすると半数位は赤点で、頭を抱えてしまう。こんな学生が、授業に興味を持ってもらうためにはどうすればいいのか、新米教師は悩んでいる。先輩の先生方に聞いてもノウハウは理解の外だ。時には「排泄済んだら、他人のために手を洗おう」、「手をつないだり、キスするのは大腸菌の交換だ」、「朝シャンしても学校に着いたときには、前と同じだけ細菌が増えている」、

「人は細菌をばらまきながら歩いているから細菌散布器だ」などと学生に興味のありそうな話題を、講義の合間にいれる。教室が水を打ったように静かになるのはこんな時だけだ。

今年の4月から1か月間課題研究で、3年目の学生が来室。テーマと方法を与え、実験を進めてもらった。課題研究は、好きなことが出来るということか、みんな自発的に分業、協力しながら実験を進めた。目的とした成績の得られるように力をあわせ、テーマは発表出来るまで、立派に仕上げた。この様子を見ると「今頃の学生は」などと、いえないほど真面目で、「一生懸命だ。学生生活3年間の成長をかいま見た瞬間である。だからこの学生達が社会に出ると、先輩諸兄姉に負けない位の熱意と努力をもって仕事にぶつかろうと期待している。

医療関連学校の中から本校を選んでくれた学生達を、私は大切にしたい。それには学生全員が卒業でき、国家試験に合格し、就職できることが基本だ。いずれの点についても新米教師は積極的に努力しつつある。

ところで就職戦線は次第に厳しさを増し、リストラも横行して、就職先も狭まりつつある。このような時期、学校を愛する同窓生のみならず、教師には出来る難い、求人情報の収集とそれを学校へ連絡していただく努力が、期待されている。同窓生と学校の、強力と連携が相まって、初めて就職100%が可能となる。後輩学生のためによりしくお願いしたいものだ。



知っている人は知っているが、知らない人はまったく知らないという、銀大OBソフトボールチーム。以前に、本誌にて部員募集をしたところ、New Faceが加わり、さらに活気付いています。今期の熊本市ナイターソフトボール秋季大会(Gクラス)ではなんと、準決勝進出という快挙を成し遂げたほどです。準決勝戦では、TV中継の日本シリーズにも負けない迫力と、緊張感のなか緊迫したゲーム展開で、大変ドラマティックな試合となりました。結果は、時間切れ同点で抽選負けではありましたが、これが我がチームなのだろうかと思えるほどの好ゲームに、選手も応援者も大満足の初秋の一夜となりました。

試合終了後お互いのプレイを誉めたり、貶したり…仕事を忘れ、世代を超えて、これからも名・迷プレイが生まれることでしょう。

追伸:部員大募集中です。お気軽にお問い合わせください。  
銀杏短大OBソフトボールチーム  
問い合わせ先/銀杏短期大学内 木浦、福岡  
Tel096-344-7611(内線35)

# 現代医療の一翼を担う九州屈指の医療短大。 ぎんきょう 銀杏学園短期大学



- 衛生技術科 ..... 100名 (臨床検査技師育成-3年制)
- 看護科 ..... 40名 (看護婦<士>育成-2年制 高卒准看資者)
- 入試科目  
【衛生技術科】  
◆推薦  
小論文(800字以内)、理科(物理I・B、化学I・B、生物I・Bの中から1科目選択)、面接、健康診断  
◆一般  
数学(数学I・II)、外国語(英語I・II)、理科(物理I・B・II、化学I・B・II、生物I・B・II)の3科目の中から1科目選択)、面接、健康診断

■平成11年度入試日程

	学科	出願期間	試験日
推薦	各課共通	11月9日~11月20日	12月3日
一般	衛生技術科 一期	1月6日~1月18日	2月2日
	衛生技術科 二期	3月5日~3月12日	3月24日
	看護科	1月6日~1月18日	2月2日

【看護科】  
◆推薦  
小論文(800字以内)、看護学、面接、健康診断  
◆一般  
基礎科目〔国語(現文)・数学I・英I〕、看護基礎医学、看護学、面接、健康診断

■募集要項(〒共1,000円・小為替のみ)の請求は教務課まで。  
〒860-0083 熊本市大連一丁目6-2  
☎096(344)7611(代表)/☎096(356)5656(教務課)

ぎんきょう 銀杏学園短期大学

# 第26回技術講習会

メインテーマ「未来を見つめて」～次世代のために私たちができること～  
 日時：平成11年1月30日(土) 14:00～18:00 (12:30受付)  
 場所：同仁堂ホール4F(熊本市上通2-7)  
 受講料：無料(どなたでも聴講できます)

環境ホルモンを探る 座長：有松 徳樹 先生 銀杏学園短期大学教授

## 1. 環境汚染化学物質の歴史 —基礎と科学—

講師：中熊 秀光 先生 熊本市立西保健所保健予防課(元熊本市環境総合研究所保健科学課)

## 2. 母体の複合汚染と胎児・乳児への影響の可能性

—ダイオキシソと農業を中心として—

講師：長山 淳哉 先生 九州大学医療技術短期大学助教授

## 特別講演：ダイナミックな胎児から新生児への変身と検査

講師：近藤 裕一 先生 熊本市立熊本市市民病院新生児医療センター部長

### 【関連行事】

#### 同窓会総会

時間：13:20～13:50

場所：同仁堂ホール(熊本市上通り2-7)

#### 野中先生慰労会ならびに懇親会

時間：18:30～(18:15受付)

場所：アークホテル(熊本市城東5-16)

会費：3,000円

今回技術講習会実行期にあたりどのようなテーマ、内容にするか色々悩み考えた末、現在話題の環境ホルモンを取り上げてみました。

未来の子供たちに、私たちがどのようなことをすればいいのかという大層な考え(?)で、環境ホルモンとはどのようなものか、また、その影響と対策についてお話していただきます。

特別講演としては、小さくアクセスの難しい新生児・未熟児にどのような治療・検査が行われているかをお話していただきます。

多数のご参加をお待ちしております。

実行委員(第13期)

斉藤義治、柴田勝之、松本恵美子、中島桂子、山口里恵、中村美穂、川崎達也、橋本公一



# 第33回九州学会時懇親会報告

さる9月26日、熊本市で第33回九州臨床検査学会が開催され、これに合わせ同窓会が行われました。

この同窓会を開くと決まってから、期日まであまり時間がなかったので、会員の皆様全員にお知らせすることができず、非常にご迷惑をおかけしました。

前日に、熊本市市民会館及び産業文化会館にポスターを張り出しかただけで済んだのに、たくさんの同窓生の皆様に集まっていただくことができました。

九州学会懇親会と同会場のホテルキャッスル2階の会場で、学会懇親会の終了した9時からの開始でしたが、「元気であったな」という同窓生の皆様方の声が飛び交う非常に賑やかな会でした。

各期の方々の近況報告、抽選による豪華賞品進呈など、本当に1時間半では足りないくらいでした。(ミッキーマウスの印鑑が当たった方、絶対に葉書を出してご自分の名前をちゃんと作ってくださいね。)

今回、来ていただけなかった方も平成11年1月30日に第26回技術講習会があります。

各期の方々のご努力のおかげで懇親会は年々賑やかになっています。

こちらにもぜひ、いらしてください。

報告者 第15期 松本珠美(銀杏短大)

## 海外協力隊派遣報告書

臨床検査技師 凧 幸世

私が協力隊に応募した動機は

「私にも何か出来ることはないか?」「人の為に役立つことが出来ないだろうか?」という思いからでした。職業として臨床検査技師を選んだのも同じ理由からです。医学を学ぶことは死を学ぶことであり、自分自身を知ることであると思います。

派遣された国はモルディブ共和国(人口約26万人、首都マレー)で、小さな島々が集まってできた国です。宗教はイスラム教で制限もあるが、最近では観光地としても発展してきているのでそれほど問題はあり

ません。現在勤務している病院はモルディブに4つある地方病院の1つですが、かなり小規模で、多くの島が集まっているため、舟で長い時間を掛けて病院へやってくることも少なくはありません。医療問題の1つとして、モルディブ人の技師の不足が挙げられ、私のカウンターパートはインド人です。現在は、アシスタントにモルディブ人をつけても



らい、検査基礎知識とその方法についてを指導中です。彼らの育成が私がここへやってきた理由の一つであるし、近いうちにモルディブにも検査技師育成機関が出来るといふことなので、私たちのアシスタントたちが興味と目的を持って学んで行けるように、指導していきたいと思っています。

ここへ来て思ったことは、宗教の違い、言葉の違い、生活習慣の違いがあるのは国が違えば当然のことなので、不便なことはあるにしてもその環境にいかに対応していくかということですね。(カレーが毎食のように出るのにはさすがにまいった。)大事な人は人と人の触れ合いです。一緒に働いている同僚や他のスタッフ、島の人々と話していくことで分かってくる。ただし、面白いということ。いつも、色んなことを発見しています。

最後に、私はモルディブ人の看護婦に検査の知識と技術指導を行っています。勤務病院や首都の病院でも出来ない検査項目は日本での技術研修(研修員推薦制度)を利用したいと考えています。それは、現地人が現地人へ知識、技術を伝達する指導体系が好ましいし、人間的幅を広げてもらうためにも価値があることだと信じています。指導を通して私自身がすばらしい人間関係を築きましたし、指導する上で、支え支えられて今ここに居ることをこれからも私は忘れません。

HYPER QUALITY LIQUID CONTROL

抜群の透明感と優れた安定性

液状ネスコールは、厳選されたヒト血清をベースとして、その内容成分に変化をきたさないよう最適条件で凍結した多項目精度管理用血清です。

また、精度の高い測定方法により値付けされた分析値を、製品ロットごとに表示してご提供します。

精度管理用血清(正常域)

液状ネスコール<sup>®</sup>-N

精度管理用血清(異常域)

液状ネスコール<sup>®</sup>-A

臨床検査試薬

### 特徴

- 液状品であるため、凍結乾燥品にみられる復水による誤差がありません。
- 信頼性の高い分析値を表示しています。
- 透明度に優れています。
- 添加酵素の由来は右表のとおりです。

酵素	由来
A L P	子牛 腸
A S T	豚心 心臓
A L T	豚心 心臓
L D	豚心臓、筋肉
γ G T	牛腎臓
C K	豚心臓
A M Y	豚膵臓

発売元



日本商事株式会社  
 大阪市中央区石町二丁目2番9号

製造元



化血研 臨床化学及血清療法研究所  
 熊本市大塚一丁目6番1号

平成8年度 決算 H8・4・1~H9・3・31

科目	予算額	決算額	備考
1 繰越金	8,500,000	9,223,054	平成7年より
2 終身会費	900,000	1,054,940	新入生104名、卒業生3名
3 寄付金	200,000	250,000	銀大後援会より
4 協賛費	500,000	550,000	銀大、化血研より
5 講習会収入	250,000	211,000	懇親会参加者68名
6 雑収入	25,000	369,701	利息(未記入分を合算)
収入合計	10,375,000	A 11,658,695	

支出の部

7 会誌発行費	250,000	389,323	印刷、発送費
8 名簿発行費	0	1,782,517	印刷、発送費
9 講習会費	800,000	871,301	(第25回準備費合)
10 会議費	100,000	25,400	理事会2回、評議員会1回
11 支部活動費	200,000	0	
12 印刷費	100,000	90,640	封筒、振込用紙
13 通信費	100,000	22,410	切手代
14 事務消耗品費	50,000	3,794	領収書、ゴム印
15 交通費	50,000	0	
16 雑費	50,000	17,822	銀大会計部謝礼、香典代
17 予備費	50,000	0	
支出合計	1,750,000	B 3,203,207	

11,658,695(A) - 3,203,207(B) = 8,455,488 (平成8年度繰越金)

平成10年度 予算(案)

科目	9年度予算	8年度予算	備考
1 繰越金	8,500,000	8,300,000	平成9年度より
2 終身会費	930,000	950,000	新入会費及び終身会費
3 寄付金	250,000	250,000	銀大後援会
4 協賛費	550,000	550,000	化血研、銀大
5 講習会収入	250,000	250,000	懇親会費
6 雑収入	100,000	30,000	利息等
収入合計	10,580,000	10,330,000	

支出の部

7 会誌発行費	450,000	480,000	会報(同窓会だより)
8 名簿発行費	100,000	50,000	調査費
9 講習会費	900,000	800,000	講習会及び懇親会
10 会議費	100,000	100,000	理事会 評議員会等
11 支部活動費	300,000	200,000	九州学会時同窓会費
12 印刷費	100,000	100,000	封筒等
13 通信費	30,000	30,000	切手代等
14 事務消耗品費	450,000	50,000	文具、パソコン購入費
15 交通費	50,000	50,000	
16 雑費	50,000	50,000	
17 予備費	200,000	200,000	
支出合計	2,730,000	2,110,000	

## 会計部 より

第25回技術講習会時総会で承認された会計報告内容を掲載致します。

平成10年度予算は、次回の名簿発行に備えて、調査費とパソコン購入費を計上しています。より正確でかつ最新の情報をお届けできることでしょ。ねえ、庶務部様！

昨年より新入会員の会費納入を口座振込に変更しました。以前は入学時に直接徴収していましたので、現金と領収書を交わすほんの数秒の間にもドラマがありました。例えば、普段履きなれないパンプスでぎこちなく歩く姿や、当面の生活費だろうか、ちょっと厚みのある封筒からおもむろにお札を取り出したり、緊張されているのか子供の名前を忘れてしまったり…etc。振込になり便利になったものの、ちょっとした人との触れ合いも懐かしんでいます。郵便番号が7桁になり、番地を書けばそれだけで届くとか。便利だけど味気ないなあと思うのは私だけでしょうか。

### ■お知らせ■

終身会費(5,000円) 受付継続中  
郵便振込 口座番号 01910-9-35812  
第一勧業銀行 口座番号 682-1215739  
〒860-0083 熊本市大塚1丁目6番2号  
銀杏学園短期大学同窓会 宛  
問い合わせ先 銀杏短大内 会計部  
TEL 096-344-7611

平成9年度 中間報告 H9・4・1~H9・12・31

科目	予算額	決算額	備考
1 繰越金	8,300,000	8,455,488	平成8年度より
2 終身会費	950,000	954,930	新入生92名、卒業生7名
3 寄付金	250,000	0	
4 協賛費	550,000	300,000	化血研
5 講習会収入	250,000	0	懇親会費
6 雑収入	30,000	102,249	利息
収入合計	10,330,000	a 9,812,667	

支出の部

7 会誌発行費	480,000	381,040	印刷、発送費
8 名簿発行費	50,000	0	
9 講習会費	800,000	267,635	会場予約、ハガキ、ポスター印刷
10 会議費	100,000	11,500	評議員会1回
11 支部活動費	200,000	0	
12 印刷費	100,000	0	
13 通信費	30,000	0	
14 事務消耗品費	50,000	5,607	ラベル代
15 交通費	50,000	0	
16 雑費	50,000	15,582	弔電代、振込手数料
17 予備費	200,000	0	
支出合計	2,110,000	b 681,364	

9,812,667(a) - 681,364(b) = 9,131,303 (平成9年12月31日現在)

## 監査報告

銀杏学園短期大学同窓会  
会長 梅橋 豊蔵殿

銀杏学園短期大学同窓会会則第3章、第10条、第5項の規定により、平成10年1月10日、銀杏学園短期大学において、平成8年度の監査を実施しましたところ、一般会計、帳簿類、備品台帳など整備良好で会務とも適切な執行が行われていることを認めます。

平成10年1月10日

監事 江藤 博三  
監事 藤井 勝

## 庶務部

会員の皆様にはご健勝のことと存じます。

早いもので、前回の同窓会名簿を発行してから(平成8年3月)まる2年が過ぎようとしています。

平成11年度に新たな名簿発行をめざして、現在準備中です。今までの名簿管理ソフトでは対応できない部分が出てきていますので、今度発行される名簿は少し体裁が違うものになるはずですよ。

まだ、ほとんど準備は進んでいませんが、皆様方のご協力を得まして、少しずつやっていこうと考えております。

同窓会の皆様には、住所、姓名、勤務先等が変わりましたら、下記までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

庶務部：〒860-0083

熊本市大塚1-6-2

銀杏短大同窓会庶務部(担当：松本)

TEL 096-344-7611

Fax 096-344-7614

E-mail: ginkyotd@sysken.or.jp

(学校のアドレスで同窓会のみ使用ではありませんので、ご注意ください)

追記：銀杏短大15期の皆様へ

平成12年度(さ来年度)は、私たちの卒業期が技術講習会の担当になります。ぜひぜひお知恵とお力を拝借したいと思いますので、よろしく！